

カツオブシムシ類

ヒメマルカツオブシムシ

発生時期

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

← 発生期間: 4月～10月

小型の甲虫で、日本では約20種が害虫として知られています。

幼虫は体表に長い毛をもち、衣類や貯蔵食品に被害を与えます。



生態

年1回発生。卵から孵化した幼虫は、脱皮をくりかえして成長します。幼虫で越冬をおこない、翌春の4月から5月頃に蛹化し、約1週間から2週間で成虫となります。成虫はマーガレットなどの白色の花に集まり、花粉などを摂食します。

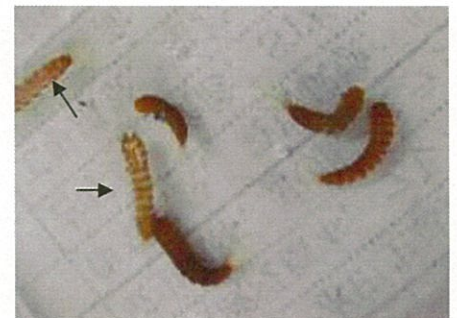
ヒメマルカツオブシムシ 幼虫

体長 : 約4mm内外

尾部に毛の束がある

被害

幼虫は鰹節、乾魚、乾肉、じゅうたん、毛皮、絹織物、蚕繭、博物館の動物標本などの乾燥した動物質や、豆、穀類、穀粉、タバコなどの乾燥植物質に被害を与えます。また、乾燥や飢餓に対して強い抵抗性をもっています。



ヒメカツオブシムシ 幼虫

体長 : 約9mm内外

尾部に長い毛の束がある

(* 矢印 : 脱皮殻)

一般家庭だけでなく、給食屑の溜まった教室の床（床板の溝）から大発生した事例もあります。

対策

食品類は密封容器に保存することが基本となります。虫が発生した食品は廃棄しましょう。また、食品屑を残さないように心がけ、掃除機などにより除去しましょう。

衣装箱、タンス、押入れなどの整理・清掃・乾燥をおこない、衣類用の防虫剤を使用して、発生の予防をおこなうことが大切です。



ヒメジオンに集まった
ヒメマルカツオブシムシ成虫



ヒメマルカツオブシムシ 成虫
体長 : 約2.5mm内外



ヒメカツオブシムシ 成虫
体長 : 約4mm内外

更に詳しい情報を知りたい場合は、以下の図書を参考にしてください。

- 1) 松崎 沙和子 武衛 和雄 著 : 都市害虫百科 (1993)
- 2) 富安 和男 梅谷謙二 著 : 衛生害虫と衣食住の害虫 (1983)
- 3) 日本家屋害虫学会 編 : 家屋害虫辞典 (1995)